

スピーチ技術学んで

ワイドえひめ

WIDE EHIME

今治教育団体支部設立へ 人前で話す恐怖心克服

ワークショップ形式でスピーチ技術などを学ぶ非営利の教育団体「トーストマスターズ・インターナショナル」(本部・米カリフォルニア州)の今治支部設立に向けて、今治市の自営業の女性らが準備を進めている。9日には模擬例会を開く予定。関係者は「和やかな雰囲気の中で、さまざまなアイデアを出し合う社交の場にした」と情熱を燃やしている。



「トーストマスター」は「乾杯あいさつをする人」や「司会者」を意味する英語で、同団体は1924年の創設。実践型ワークショップを通し、リーダー

トーストマスターズ・インターナショナルの今治支部設立に向け、例会の進め方などを話し合う白石さん(中央)ら

「トーストマスター」シップやコミュニケーション能力の習得を目的としている。6月30日現在、世界113カ国で1万2500以上、国内では約1100団体が活動している。発起人は、同市常盤町8丁目の自営業白石道子さん(41)。米国での勤務経験がある白石さんは現地でワークショップを受講し、人前で話すことへの恐怖心を克服したという。県内には支部がなかったため、市民らにもプレゼン能力の習得やネットワークづくりに役立ててほしいと設立を思い立った。

今治支部の例会は月1回の予定。同団体の手引書に基づき、即興スピーチや論評などを3部構成で学ぶという。前半は英語、後半は日本語の講座とし、どちらか片方だけの受講も可能。18歳以上が対象で、入会金は5千円、会費は半年ごとに6千円としている。白石さんは「スピーチテーマは芸能や時事などさまざま。堅苦しい会ではないので、いろんな人に参加してほしい」と話している。

る。

模擬例会は9日午後1時から、同市南宝来町1丁目の市総合福祉センターで。参加無料。問い合わせは白石さん || 携帯電話080(4114)2748。(白川亜子)

仲間と磨くスピーチ力

今治 支部設立へ公開実演会



参加者が即席スピーチなどに挑戦した公開実演会

スピーチ技術などを学ぶ非営利の教育団体「トーストマスターズ・インターナショナル」(本部・米カリフォルニア州)の今治支部設立を目指す今治トーストマスターズ準備委員会(白石道子代表)は9日、今治市南宝来町1丁目の市総合福祉センターで公開実演会

を開き、市内外の主婦や会社員ら約15人に例会の進め方などを手ほどきした。

同団体は実践型ワークショップを通し、リーダーシップやコミュニケーション能力を習得することが目的。支部設立には会員20人以上が必要となるため、入会者を募集しよう

実演会を開催した。

9日は徳島や広島など他県のクラブメンバーも参加、前半を英語、後半を日本語の講座として開催。日本語講座では「亡くなった人に会えるとしたら、誰に会いたいか」などがテーマの即席スピーチや論評などがあり、参加者は少し緊張した面持ちで言葉をひねり出していた。

人との出会いについてスピーチした同市宮下町2丁目の会社員上田和宣さん(39)は「原稿は考えてきたが、思った通りに話せなかった」などと感想を述べていた。

準備委員会は今後も公開実演会を続ける予定。(白石亜子)